

## 第一次学校給食施設整備実施計画

## 1 計画の趣旨

盛岡市小中学校学校給食基本方針（平成25年12月24日教育委員会策定）に基づき，都南学校給食センターの代替施設としての共同調理場の建設，単独調理場の整備・集約化の検討及び中学校選択制給食の拡大について定め，計画的に進めていくものとする。

## 2 計画の期間

この計画の期間は，平成27年度から31年度までの5か年とする。

## 3 実施内容

## (1) （仮称）盛岡学校給食センターの建設

老朽化した都南学校給食センターの代替施設として，学校給食衛生管理基準に沿った施設を建設し，現在の調理機能を移転する。

## ア 新施設の概要

- 供給対象 小学校9校，中学校4校（現在の対象校に同じ）
  - 調理能力 6,000食/日
  - 整備基準 「学校給食衛生管理基準」に則った衛生管理の実施
    - ・食物アレルギーに対応するための専用調理室の設置
    - ・見学コースや研修室の設置等による食育の推進
  - 想定敷地面積 約10,000㎡
  - 延床面積 3,000㎡（鉄骨造一部2階建）
  - 施設・設備
    - 1階 ・給食区域…検収・下処理エリア，調理エリア（アレルギー調理室を含む。），洗淨エリア，消毒・保管エリア等
    - ・事務区域…事務室，調理員休憩室等
    - 2階 ・事務区域…会議室，研修室，見学コース等
  - 供用開始目標 平成32年度
  - 建設候補地 向中野字道明地内
- ※当該建設候補地は，都市計画決定の変更手続を進めている。

イ 整備手法

現在、公共施設の整備方法には様々な方式があり、それぞれメリット・デメリットも様々あることから、どの手法を選択するかを多角的に検討していく。

方式	概要
従来方式	調査・設計・建設・運営をそれぞれ別契約で行う方式
P F I方式	調査・設計・建設・運営の全部又は一部を一括契約で行う方式
デザインビルド方式	設計、建設部分を一括契約で行う方式

ウ 概算総事業費 約31億円

※従来方式で、他市町村の実績、参考見積などから算出。消費税は8%で試算。

事業費には、用地取得費、調査費、設計費、建設費等を含む。また、設計費及び建設費には、既存施設解体に係る経費を含む。

エ 概算運営費 約2億2,000万円/年

※民間委託により調理、配送を実施。都南学校給食センターの実績などから算出。

オ 今後の予定

年度	従来方式の場合	P F I方式の場合
27	建設候補地の決定、P F I導入検討等→事業実施手法検討（決定H28年度） 埋蔵文化財試掘調査	
28	埋蔵文化財調査、造成工事関連、用地取得関連	
		導入可能性調査、方針決定・公表
29	造成工事、利用者等の意見集約	
	基本設計	事業者選定・決定
30	(土地養生)	
	実施設計	基本・実施設計
31	建設開始（2か年度）	
32	建設完了、供用開始、既存施設解体設計	
33	既存施設解体完了	

※デザインビルド方式の場合においても、平成32年度の供用開始を見込んでいる。

※32年度以降については、第二次実施計画とする。

(2) 単独調理場の整備・集約化の検討

全ての単独調理場について個別の実態調査を実施し、改築やセンター化など今後の施設整備の方向性を検討する。第一次実施計画においては、調査方法・項目・検討方法についての基準を策定の上、調査を実施し、調査結果を基に第二次実施計画に反映させる。

○今後の予定

平成27年度	調査方法の検討・決定，全体調査（業務委託）
平成28年度	学校個別調査
平成29年度～30年度	調査結果に基づく整備方法の検討，意見聴取等
平成31年度	単独調理場調査結果等を基に第二次実施計画を策定

(3) 中学校選択制給食の拡大

旧盛岡市の中学校で実施している中学校選択制給食については、平成20年度から順次拡大を進め、平成27年度現在9校で実施している。

平成27年度現在、未実施の5校については、学校施設整備事業との調整を図りながら、配膳室等の工事を進め、運用開始に向けた準備を計画的に進めることとする。

○今後の予定

実施予定校	給食開始予定	配膳室等工事予定	学校施設整備予定
下小路中学校	平成28年度	平成27年度	H27校舎耐震補強工事
北陵中学校	平成29年度	平成28年度	H27校舎耐震補強工事
仙北中学校	平成30年度	平成29年度	H28校舎増築工事
大宮中学校	平成31年度	平成30年度	
米内中学校	平成31年度	平成30年度	

※実施順は、学校施設整備事業との調整により変更となる場合がある。

※実施校：黒石野中，上田中，北松園中，松園中，厨川中，下橋中，城西中，城東中，  
河南中